

Aitoz事業化調査／フミンコーティング商材の概要

フミンコーティング

フミンコーティングは、ガラス面に赤外線や紫外線を吸収・カットする伝導性金属酸化物をスプレーガンで斑なく透明に塗膜を形成する特許技術です。

- 夏は外からの赤外線(太陽熱)を吸収・カットする為、室温の上昇を抑えます。
- 冬は室温の熱が逃げにくいいため暖かく、結露も抑制する優れた特性をもつ。

地球温暖化防止とコスト削減(電力消費)に貢献する環境に優しい商材

ポイント

- 1) 紫外線、約90%カット(肌の健康、日焼けによる室内の変色・劣化防止)
- 2) 可視光線透過率、約80%程度確保(室外の景観や室内の明るさにほとんど影響をあたえない)
- 3) 赤外線、約70%カット(オフィスや住宅の室温を抑え、省エネとCO2の削減効果)
- 4) その他、暖房費の節約・外注飛来抑制効果・結露対策など
耐久年数も約10年あり、フィルムの張り替えなど不要(従来の類似品)

- 反射光害が社会問題化(眩しい／暑い・・・)
- 赤外線遮断効果測定

普通のガラスとコーティングガラスの熱貫流量を測定
645. 3Kcal/m²・h(普通のガラス)



490. 5Kcal/m²・h(コーティングガラス)

熱貫流量 24%減

※新国立美術館実績(未導入比、18%年間電力消費削減効果)

新国立美術館(東京都港区)



内面コーティング工事現場



コーティング後、内面ガラス

